



内容 富士登山、レクリエーション、野外炊飯など。
 対象 富士五湖地域に住む方々
 定員 日本人110名 外国人40名
 小学4年生、中学3年生
 締切 7月4日(土)
 問合せ (財)国際青少年研修協会
 0333598421 高田、藤岡
 ホームページ
<http://www/kskk.or.jp>

UKA河口湖オルゴールの森、特別入館パスポートの配布についてお知らせ

町では、UKA河口湖オルゴールの森にご協力をいただき地域文化高揚のため引き続き富士河口湖町民、特別入館パスポートの発行をしていただくこととなりました。(本年度3回目で最終となります。)
 つきましては、ご希望者に次のとおりパスポートの配布をさせていただきますのでご利用ください。

- 配布期間 6月30日まで(土日祭日を除く)
 午前10時～午後4時(期間厳守)
- 配布場所 「UKA河口湖オルゴールの森」
 又は町役場観光課(役場2F)
- 配布要件 1世帯一枚 町民であることを証明できるものをご提示ください(免許証、保険証等)
- 問合せ 「UKA河口湖オルゴールの森」
 204111

子育て支援講座「森で遊ぶ」「バビロンの森」の友達と一緒に遊びましょう。

- 日時 6月25日(木)
 午前9時30分～11時30分 年5回予定
- 場所 「Eこどもの家バンビ」の森
 入口集合
- 対象 2～3才の子どもとその保護者
- 定員 8組 費用 1組300円(保険料含)

持ち物 水着替歩きやすい靴雨天時カッパ、長靴)
 申込み 6月11日(木)～22日(月)
 問合せ 「Eこどもの家バンビ」の森 富士河口湖町大石29541
 09015055681 堀内
 電話の問合せは午後5時以降にお願いします
 メール into@amibi.tui.jp

子育て講演会

「熊丸みつ子先生とあそぼ・はなそう!」

先生と一緒にリズム遊びを楽しんだあと、子育ての講演を行います。子育てに不安を抱えているお母さんへのメッセージです。
 日時 6月20日(土) 午前10時～11時30分
 場所 富士吉田市立市民ふれあいセンター
 対象 未就学児とその保護者、子育てに関心のある方
 定員 8組 費用 300円
 持ち物 タオル・飲み物
 問合せ 新日本婦人の会富士吉田支部
 08054943839 須合(昼間)
 08067219660 渡辺(夜間)

テニススクール開催のお知らせ

富士河口湖町テニス協会では一般社会人、小学生以下の初心者を対象に硬式のテニススクールを開催します。テニスを始めたいと思っていた方、子供にテニスを考えている方は、この機会に始めてみませんか。
 日程 6月28日(日)から毎週土曜又は日曜日
 計8回

- 対象及び費用
 小学1～3年生 午後0時30分～1時30分 2千円
 小学4～6年生 午後1時35分～2時35分 2千円
 4、5歳児 午後2時40分～3時40分

2千円
 一般初心者 午後3時45分～5時15分
 3千円
 場所 栗山台テニスコート(勝山)
 締切 6月21日(日)
 問合せ テニス協会
 09085862917 流石

【参加者募集】

Mt.FUJIEDRAGONボートレース
 ラベンダーカップ2009参加者募集!

夏の河口湖を舞台に毎年開催されているドラゴンボート大会です。河口湖のドラゴンボートは、漕ぎ手8名、太鼓1名、舵取り1名の計10名による10人乗りの大型力ヌーで、300mの直線を競います。初心者のチームでも大丈夫です。普通のカヌーとも異なり、技術よりもチームワークが大きな力ギになります。職場の仲間、貯金会の行事、野球やサッカーのチームメイト同士での参加も楽しいですよ。
 開催日 7月12日(日)
 場所 河口湖漕艇場(河口湖美術館に隣接)
 レース トーナメント形式 男子・男女混合、女子(但し舵取りは男性可)

- 募集 40チーム限定
- 参加費 1チーム20000円
- その他 上位入賞チームに表彰及び賞品、全員に参加記念品。
- 締切り 6月20日(土)
- 問合せ ドラゴンボート大会実行委員会
 事務局(天野) 732918

店舗移転のお知らせ

日本政策金融公庫甲府支店農林水産事業旧農林漁業金融公庫)は、6月1日から新店舗で営業を始めました。
 所在地 甲府市内の内2262
 電話 0552282182

富士河口湖古の小徑

富士北麓の食生活の変遷(上)

飽食に慣れ、食べたいものは季節を問わずに何でも手に入る昨今、戦中戦後の食糧事情が極端に悪かった時のことが忘れ去られようとしています。

戦中戦後、私が育った富士北麓の地、船津地区は高冷地の上に火山灰土の痩せ土で、川もないため、米が思うように手に入らず、米に対する苦労は大きかったように記憶しています。

また、自給自足を原則にしたような食生活だったため、米事情はもちろんのこと、副食までもが現在の食事内容からだいぶかけ離れていたように思います。当時はどこの家へ行っても朝はトウモロコシの粉で作った「モロコシ団子」、昼は麦、米半分ずつのご飯である「麦飯(バクメシ)」、夜は甲州名物の「ほうとう」というのが決まりの献立でした。

私は子どもの頃、東京に住んでいましたが、戦前の食生活を振り返ってみると、三度の食卓には白いご飯、副食には肉や魚と、今とあまり変わらない食事をしていました。

しかし、戦争が勃発し、いよいよ戦況が激しくなってきた昭和十九年八月、小学校四年生の私は縁故疎開で母の実家があるここ富士北麓の地へ一人で預けられました。その時の初めての食事は、あまりにも粗末で味気なかったものであることを覚えています。そんな粗末な食事でも、戦時中は、欲しがりません、勝つまではの教えを叩き込まれていた私たち子どもは、質素な食事に対する順応性は良かったように思います。

やがて、働くことを強いられた子どもたちは、小学生であるにも関わらず、勤労奉仕と

いう名目で簡単な畑仕事にかり出されました。幼い子どもたちでも、一週間は、月、月、火、水、木、金、金といつて日曜日や休日はなく、働くことが当然であるとされていきました。

例えば、春は畑の土の起こし返しをする、春うない」という作業で、大人の先に立ち、「こみを入れ耕しやすくする手伝い、夏は草取り、秋は収穫作業と、朝から晩まで畑にいました。昼食ももちろん畑の隅で済ませましたが、その内容は、季節の野菜とトウモロコシの粉で作った小さな団子を煮込んだもので、朝、家族を送り出した主婦が台所で調理し、でき上がったものをバケツに入れ、畑のある場所まで背負って持ってきてくれました。朝、昼、晩の三食が団子の時は、「三団子(サンダンゴ)」とも呼んでいました。

小学校の校庭もいつの間にか面積の半分が畑と化し、高学年である五、六年生の児童が耕作し、ジャガイモ、トウモロコシ、大豆などを作付けしました。高学年はこのほかに、学校外でも、現在のレイクサイドゴルフ場辺りに畑を作り、胎内神社等に宿泊して農作業で鎌を振るい、粟、蕎麦、大豆等を作っていました。

私はまだ小学校四年生だったので、宿泊を兼ねた農作業の経験はありませんでしたが、日帰りの草取り作業には行きました。お弁当は、小麦粉とトウモロコシ粉を混ぜてホーロク(フライパンのようなもの)で焼いたものを持参していきましたが、当時、砂糖が大変貴重だったため使うことができず、味はそれほどなく、食感もボンボンとして、決しておいしいと言えるものではありませんでした。

ある疎開してきた家族の会話でこんな話を聞いたことがあります。

母親がお粥を作ったところ、配給米不足のため、米粒が少なすぎ重湯になってしまいました。子どもはそれを食べようとして、「お母さん、お米が入ってないよ」と母親に不満を訴えると、母親は「お米は、かき回せば浮いてくるよ」と答えたそうです。

他の地域から引っ越してきたので、畑もなく、トウモロコシも小麦も作れない状況だったので、配給米だけで飢えを凌ぐにはこんな内容の食事で食いついていくしかなかったのだと思います。

《次号につづく》

(特別寄稿 ふるさとガイドの会・古文書調査会 小林那津子)

広報の文化財紹介コーナー

『古の小徑』が

集成版として
1冊の本になりました!

平成12年から平成20年3月までの内容がすべて収録されています。



ご希望の方には、平成21年6月15日(月)午前10時から生涯学習課の窓口にて配布いたします。(配布は先着100部限定で一人様 部限りとさせていただきます。電話等による予約はできません。ご了承ください。)

観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち—日本の湖水地方—

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

富士山・富士五湖観光圏整備事業が進められています。

国では、国内外の観光客が2泊3日以上滞在できるエリアの形成を目指す『観光圏整備法』を施行し、複数の観光地が連携した観光圏の取組みを支援しています。

本地域では、昨年6月6日に富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村の6市町村と観光関係諸団体が富士山・富士五湖観光圏整備推進協議会を設立し、10月1日、観光庁の認定を受けた、各種の観光圏整備事業を強力に推進しているところです。そのいくつかをご紹介します。

1 ホームページ『富士五湖ぐるっとつながるガイド』とメールマガジンの配信

ホームページでは富士山・富士五湖圏域の旬な観光情報を発信しています。ぜひ一度ご覧下さい。

パソコン版URL <http://www.fujigoko-net.jp/PC/>

携帯版URL <http://www.fujigoko-net.jp/mobile/>

また、イベントなどの季節の情報や観光圏整備事業の最新情報などを配信するメールマガジンも発信しています。パソコンでも携帯電話でもメールを受け取ることができますので登録してみたいかでしょうか。登録は上記ホームページのトップ画面の「メールマガジンの購読申し込みはこちら」「メルマガ購読」のリンクからできます。

2 おとくなきっぷ ～富士山・富士五湖パスポート～ が新登場!!

富士山・富士五湖エリアの電車とバスが3日間乗り放題となるきっぷが4月25日より発売を開始しております。富士山と富士五湖をゆっくり2日、3日とかけて周遊するのに大変お得なきっぷです。

- ・名称 富士山・富士五湖パスポート
- ・料金 大人 4,800円、小人 2,400円
- ・発売箇所 富士急行線大月駅・富士吉田駅・河口湖駅、バス案内所森の駅旭日丘・富士吉田バス案内所
電話 0555-72-6877(富士急山梨バス)又は 0555-22-7133(富士吉田駅)

富士山・富士五湖観光圏整備事業が進められています。

1. 観光まちづくり推進会議のメンバー募集

先月のかわら版に続き、観光まちづくり推進会議では今月も参加メンバーを募集します。

今年度も「観光まちづくりカレッジ」の開催を予定しています。については、観光まちづくりに関心のある方でカレッジの企画運営に携わる方(=観光まちづくり推進会議のメンバー)を募集します。身近な生活の中に生きがいを探している方、カレッジの集まりに皆で話し合い実行して、楽しい充実した生活の発見をしましょう。若い人や女性もふるってご参加ください。[応募は下記連絡先へ]

2. 平成21年度観光まちづくりカレッジ(人材養成教室)の学生募集の予告

[カリキュラムの概要]

- (1)観光まちづくり推進会議で設定した研究テーマについて、その解決方法を探り、計画を立てて実行します。その要所、要所に個別専門の先生方を招いて講義・指導をしていただきます。
- (2)本年度の開校期間は平成21年8月～平成22年3月です。学費無料(ただし、教材等実費負担)。
- (3)一ヶ月2回の教室開校を目的に、宿題と実習を繰り返して新しい交流の場を創り出す演習を行います。
- (4)昨年度の研究テーマは きのこの森づくり、朝市開催と周辺散策プログラムづくり、ペラ・コミュ誌づくりの三つでした。この中には事業化に向けて走り出したものもあり、短期間に相当な効果が期待出来ます。

[学生募集について]

広報7月号で公募する予定です。

3. 応募先、問い合わせ先

観光まちづくり推進会議メンバーに応募を希望の方、また観光まちづくりカレッジについての質問等をお持ちの方は下記へ連絡してください。

担当:観光課 観光振興支援室 久保、または観光地域プロデューサー 花岡 (電話番号、電子メールは下記)

お問合せ 観光課 観光振興支援室 72-3168/ 電子メール :kanshin@town.town.fujikawaguchiko.lg.jp



消費生活

一口メモ

消費者の味方・・・クーリング・オフ制度

消費者が契約するとき、セールスマン等に強引な勧誘を受けて、意思の定まらないままに契約をしてしまうことがあります。この制度は、このような消費者を救うために活用されています。

クーリング・オフができる場合

- 契約したのが営業所以外の場所であること
- 契約書面が交付された日から8日以内
- 消費税込みの代金の総額が3000円以上であること
- 特定商取引法で定められた
- 商品・役務(サービス)・権利であること
- 商品を使用している場合・サービスを受けた場合・・・

クーリング・オフの方法

- 契約書面を受け取った日を含めて8日以内(例外あり)に、書面で通知します。
- ハガキに書いて両面をコピーし、控えとして保管します。
- ハガキは、「配達記録」か「簡易書留」で送ります。
- クレジットを利用した場合は、信販会社へも通知する。
- 支払ったお金は、全額返金されます。

“しまった”と思った時は、早めの相談を!!

山梨県県民生活センター 0555 - 235 - 8455

平成21年度山梨県消費生活相談員を紹介します。

県では、県内87名の方を消費生活相談員として委嘱し、毎日の暮らしの中で消費生活に関する苦情や相談を受け付けています。私たちの町の相談員さんは、下記の3名です。お気軽に声をかけて下さい。

渡辺 節子(船津) 73 - 2276 / 高信 明美(船津) 72 - 4091 / 梶原 康彦(大石) 090 - 1650 - 4815

ふじサンサンプラン 男と女の情報

たくさんのお作品、

ありがとうございます。

第2回男女共同参画推進事業の二環として「標語・俳句・川柳」の募集を行い、小・中学校からは879点、一般からは36点で合計915点の応募がありました。大変ありがとうございました。

3月8日(日)、「生涯学習推進のつどい」において入賞者の表彰式をおこないました。

町長賞

小学校低学年の部

勝山小2年 梶原智史

大そうじ 高いところは、おとつさん

せまいところは、子どもたち

さいこのしあげは、おかあさん

小学校高学年の部

精進小6年 渡辺里奈

手をつなく男と女とは 笑顔だよ

中学校の部 河口湖南中2年 渡辺千夏

あらたな未来 男女の間に かべはない

一般の部 河口 中島みよ

植えた木を 男女で育てて 大木に

議長賞

小学校低学年の部

河口小3年 風間勇希

男女とも とくいな事で 助け合おう

おめでた・おくやみ

【4月23日から5月19日まで】

おめでた(出生)

お子さん 父 母

渡邊 陽太 真樹 真由 船津

中野 夢木 孝司 真貴 船津

石橋 眞太郎 利彦 沙織 船津

勝保 安敦 章 敦子 船津

松本 桜耶 聡 明子 小立

武藤 綺久斗 雄輝 空海 小立

久保 航太 拓夫 喜久美 勝山

流石 行雲 哲也 鈴奈 勝山

おくやみ(死亡)

届出人

松浦 幾雄 松浦 斉 船津

小山田 孝二 小山田 孝之 船津

勝保 忠行 勝保 菊江 船津

小林 悦子 小林 雅男 船津

宮下 春代 宮下 實 船津

長山 キシエ 長山 清 船津

小池 伊勢美 小池 ミツエ 船津

渡邊 恒雄 渡邊 五十鈴 船津

渡邊 文雄 渡邊 タミエ 船津

町田 君夫 町田 国男 船津

松井 仁勇 松井 五月 小立

行政相談・心配ごと相談は **予約制** です！

行政相談・心配ごと相談日
6月20日(土)

場 所	時 間	弁護士相談
町中央公民館	午前10時～午後2時	午前10時～12時
足和田出張所	午後1時～4時	午後1時～3時
勝山ふれあいセンター		/
上九一色出張所		
行政相談・心配ごと相談・弁護士相談は、どこの場所へ行ってもOKです。		

相談者や効率的な相談のため、行政相談・心配ごと相談、弁護士相談は予約制になりました。
6月20日の相談の予約は、6月16日(火)までに町役場企画課(72・6023)まで連絡してください。相談時間は、1人20分間とします。

町の行政相談委員さんは

白壁 勝雄 72 0143
小佐野成太郎 83 2340
梶原 一榮 82 2446
渡辺 袈裟司 87 3166

6月の多重債務相談日
日程 6月20日(土)
午後1時～3時
相談場所 町中央公民館 第2研修室

県民生活センターの移転について

6月1日から県民生活センターが移転しました。各種相談業務等は、今まで同様に行われます。また、電話番号は現在と同様です。

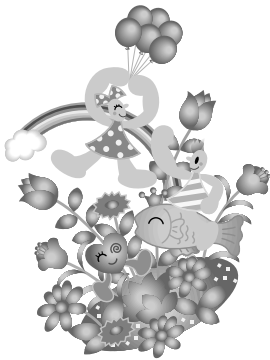
移転先 山梨県J A会館5階
甲府市飯田1-1-20
県民生活相談 TEL 055-223-1366
消費生活相談 TEL 055-235-8455
テレホンサービス TEL 055-233-3399
FAX 055-223-1368

県等の機関が行っている各種相談

電話相談
県民生活センター TEL 055-223-1366
富士・東部地域地方相談室 TEL 0554-45-5038 7843
曜日・時間 月曜日～金曜日(祝日除く) 午前8時30分～午後5時
山梨行政評価事務所 TEL 055-252-1496
曜日・時間 月曜日～金曜日(祝日除く) 午前8時30分～午後5時

「ねんきん定期便」相談会

日時 6月26日(金) 午前9時～午後4時(正午から午後1時は昼休み)
会場 中央公民館



(学年は平成20年度です)

- 教育委員長賞
- 小学校低学年の部 船津小3年 古明地達也
 - 毎日の家事の分たん 家族のキスナ
 - 小学校高学年の部 小立小4年 渡辺耕大
 - 父の日に、あげたエプロン よくにあう
 - 中学校の部 上九一色中3年 芦沢宏斗
 - わきまえて 区別と差別の 荷の重さ
 - 一般の部 大石 横田聖美
 - 母は社会 父は家庭に 目を向けて
 - 小学校高学年の部 小立小5年 中野早莉奈・佳津子
 - 一緒に子育て 一緒に家事 あたり前だよ 家族だもの
 - 中学校の部 勝山中3年 浅見優紀
 - 社会とは、全員輝く 場所なんだ。
 - 一般の部 船津 石原和江
 - 参画を 誓った夫は 心の中

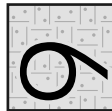
国民年金・社会保険相談所
日時 7月7日(火)
午前9時30分から午後4時
場所 河口湖商工会
山梨社会保険事務局大月事務所
問合せ 0554223811

人のうこき
5月1日現在の人口・世帯
人口 25,908人 (+47)
男 12,742人 (+22)
女 13,166人 (+25)
世帯 9,020世帯 (+51)

おしあわせに(結婚)

千葉 寛之	安富 弘美	船津 精進	中村 トク子	91歳	中村 信也	河口
渡邊 慶太	当田 志帆	小立 精進	堀内 重治	78歳	堀内 治幸	大石
中村 達也	市川 亜岐	河口 大嵐	石原 津次	77歳	石原 公仁	大石
小林 正一	丸山 恵	河川 大嵐	堀内 うら子	54歳	堀内 幸政	大石
渡邊 裕也	長田 美穂	精進 精進	堀内 勝也	64歳	堀内 歌子	大石
渡邊 捷士	69歳	渡邊 豊子	渡邊のぶ子	59歳	渡邊 誠	勝山
小佐野重夫	83歳	小佐野君代	小佐野重夫	83歳	小佐野君代	勝山

Happy Wedding



「広報富士河口湖」は資源保護とリサイクル促進のため再生紙を使用しています。

ホームページアドレス
Eメールアドレス
http://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/
kikaku@town.fujikawaguchiko.lg.jp

西湖いやしの里根場からのお知らせ

『小さな風・癒しの風』展 開催中

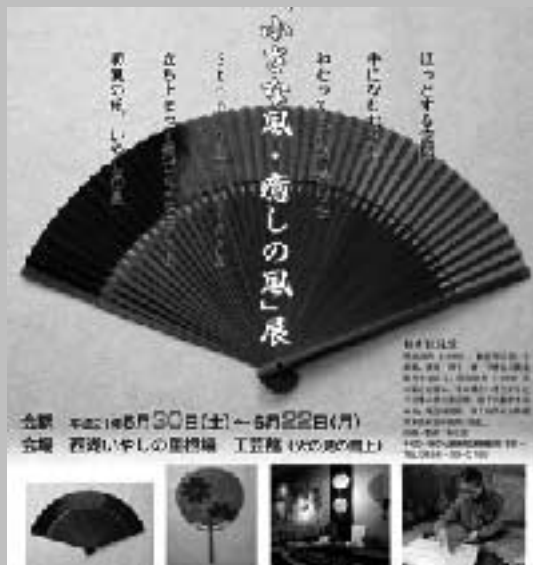
山梨県内で活動をする芸術家達の企画展を開催中です。
今回は「団扇・扇子」の作品展。
草木染和紙の団扇・扇子や草木染和紙の作品や小物を展示
しています。
いやしの里のほっとする空間で、心と癒して下さい。

会期;5月30日(土)~6月22日(月)
午前10時~午後5時

会場;西湖いやしの里根場「工芸館」(火の見える館上)

杉山江見堂

明治32年(1899年)鯉沢町において創業。団扇・扇子・曆・引き札の製造
販売を始める。昭和61年(1986年)草木染と出会い、その風合いを生か
した手仕事の草木染団扇・扇子の創作を始める。
現在は団扇・扇子以外にも和紙草木染作品の制作に励む
染色・制作:杉山茂



詳細お問合せ先

西湖いやしの里根場総合案内所
TEL:20-4677

URL <http://www.fujisan.ne.jp/iyashi/>



平成21年 経済センサス - 基礎調査

7月1日 経済センサス・基礎調査を実施します

全国の商店や工場、営業所、事務所、学校、旅館、学習塾、病院、寺院などすべての事業所が
対象となる大規模な統計調査です。

調査方法は6月から調査員がお伺いして直接調査票を配布・回収します。調査票が届きましたら、必ず
お受け取りになって、ご記入ください。
支社・支店などのある場合は、本社・本店などで支社・支店などの分も記入していただきます。



7月1日 総務省統計局・山梨県・富士河口湖町

調査員がお伺いする場合は、必ず「調査員証」を携行しています。

詳しくは企画課地域情報係までお問合せください TEL 72-6023

この統計調査は、事業所及び企業の産業、従業者規模等の基本的構造を明らかにすることにより、地域の
まちづくり、交通対策、環境対策、防災対策などの重要な基礎資料として活用されます。

休日・夜間の救急医の問い合わせ先 23-4444 (富士五湖消防本部テレフォンサービス)
平日 午後5時~、土曜日 12時から、日曜・祝祭日 午前8時~